



日刊 労働千葉

国鉄千葉労働組合

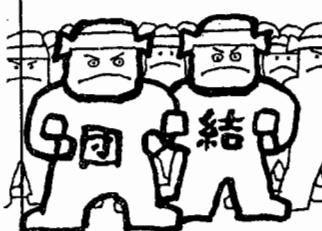
〒260 千葉市中央区要町2番8号(労働車会館)
電話(鉄電) 千葉 2935・2936番
(公) 043(222) 7207番

93.11.30 No. 3902

年末手当超低額回答弾劾！

	夏 季	年 末	計
北海道	2. 5	2. 65	(5. 35) 5. 15
東日本	2. 6	3. 15	(5. 75) 5. 75
東 海	2. 7	2. 9	(5. 6) 5. 6
西 日本	2. 8	2. 8	(5. 6) 5. 6
四 国	2. 7	2. 7	(5. 5) 5. 4
九 州	2. 65	2. 65	(5. 45) 5. 3
貨 物	2. 5	2. 6	(5. 1) 5. 1

※()内は、昨年の年間支給月数



JR体制打倒の闘闘
に全力を
分割・民営化は、国鉄労働者に差別

貨物年末手当回答
(二月二六日)

日刊ルンバ九七の本文四行目から「すでに日本は、完全失業者一万六千、「企業内失業者」のレッテルを貼られた労働者が二万、そして細川政権の進める「規制緩和」政策によつて二万二千が失業するといわれている。」は、「完全失業者一六〇万、「企業内失業者」が二〇〇万、そして...「規制緩和」...によって二二〇万が失業するといわれている。」と間違ひでした。訂正致します。

一一・三〇一一二・一スト断固貫徹
一一・五清算事業団闘争勝利！全国労働者集会の成功を！来年冒頭からの動労千葉全国地域集会の成功を！

全組合員は怒りの反撃を開始しよう

一一月二六日、貨物会社は年末手当について二・六カ月という超低額回答を示した。またその超低額回答に対し、JR総連日貨労、鉄産労は即日妥結した。われわれは、この貨物会社の超低額回答と、日貨労・鉄産労の即日妥結を断じて許すことはできない。

この間、貨物会社は、長期不況、夏の奥尻島地震、大雨・台風などの減収を理由に、棚橋社長を本部長とする「緊急経営施策推進」を設置し、ことさらに「経営危機」を煽り立ててきた。また、一部の経営側職制は、「年末手当『二・五カ月』など出せる訳がない」とがなりたてていたのである。

R総連はあらかじめ屈服し、年末手当要求に際し、「東三・四カ月、貨物三・二カ月」と自ら格差要求を行ない、鉄産労は高飛車な会社の姿勢に屈服し

、JR各社のうち貨物の年末手当及び年間の手当のトータルは一番低い率となっている。貨物会社は、三島会社のように経営安定基金の補填により成り立つていて訳ではない。独立採算制となつてゐるのである。経営側の論理からしても、合理性の無い、全く不当な内容なのだからこそ経営危機など現場の一線で働く労働者には、何の関係もないことなのだ。それより現場では、深夜に集中する貨物輸送業務を無事故で行なうために、それこそ体を削りながら夜を撤して働き、自らの持ち場の責任を十二分に果たしているのである。

一一月二六日、JR総連日貨労とともに即日妥結をしたのである。

経営危機など現場労働者には何の責任もない

、JR総連日貨労とともに即日妥結をしたのだ。それが昨年来大幅な格差が持たれたのである。われわれは、怒りに堪えない。

分割・民営化の最大の狙いは、国鉄労働運動の解体、そのための労働者の分断にあつた。われわれは、その狙いを打ち碎くために、労働者同士の鉄の団結と連帯をかちとろう！とりわけ旅客の組合員は、貨物の組合員の苦闘に応え、貨物の組合員の立場にたつてJR体制打倒の闘いの最先頭に立つことを決意しよう！

われわれは、貨物会社の年末手当超低額回答と日貨労・鉄産労の即日妥結を徹底的に弾劾する。

一一・三〇一一二・一スト断固貫徹
一一・五清算事業団闘争勝利！全国労働者集会の成功を！来年冒頭からの動労千葉全国地域集会の成功を！

全組合員は怒りの反撃を開始しよう

貨物会社

11/26